

借り物文化の中で本当のクリスマスを祝う

・・・天使は、マリアのところに来て言った。「おめでとう、恵まれた方。主があなたと共におられる。」マリアはこの言葉に戸惑い、いったいこの挨拶は何のことかと考え込んだ。すると、天使は言った。「マリア、恐れることはない。あなたは神から恵みをいただいた。あなたは身ごもって男の子を産むが、その子をイエスと名付けなさい・・・。」マリアは天使に言った。「どうして、そのようなことがありえましょうか。わたしは男の人を知りませんのに。」天使は答えた。「聖霊があなたに降り、いと高き方の力があなたを包む。だから、生まれる子は聖なる者、神の子と呼ばれる・・・。」マリアは言った。「わたしは主のはしためです。お言葉どおり、この身に成りますように。」そこで、天使は去っていった。

ルカ 1：26－38.

また心躍る喜びの季節が来ました。バーゲンフィールドでの初めてクリスマスを迎えます。振り返ってみると今年も色々ありました。個人的には教会の移動、夏に大阪で開かれた国際美術教育学会への参加、博士論文プロポーザル却下による足踏み（実は結構ショックでした）などなど。社会では昨年末から始まった不況が一段と深刻化し失業率やホームレスの増加や、最近インドで起こった計画的テロなど心痛むニュースが多かったように思えます。ムンバイでは日本人一人を含め180人近くが尊い命を失ってしまいました。ご遺族の平安を心から祈ります。歴史的快挙としてはアメリカで初の黒人大統領が選出されたことや、中国でのオリンピックなどがありました。白人中心の世界観、社会が真の他民族共存社会へ歩み出したと言えます。勿論、まだまだ人種、階級、性差別など様々な障害がありますが、世界は新しい局面に入ったと言っても過言ではありません。

様々な民族国家の台頭、国際化などのグローバル化の反面、民族の固有性、伝統等の保持は私たちが向き合わなければならない課題です。これは日本人クリスチャンが常に抱えている問題でもあります。日本独自の文化、宗教、慣習の中でどうキリスト教の教え、理念を守っていくかはいつも大きなチャレンジです。これはアメリカに住む日本人も同じです。

アメリカはキリスト教がまだ圧倒的な多数派ではありますが、ユダヤ人も多く住んでいますし、イスラム教徒も年々勢いを増しています。また仏教やヒンズー教、諸々の宗教や無神論者も氣勢を上げ自分たちの権利を主張します。そんな中で他者を差別せず共存しながら、自分たちの信仰を守るということは並大抵のことではありません。

以前にも一度書きましたが、日本の文化、歴史を欧米では「The Culture of Borrowing and Adaptation」(借り物から自分流に受け入れる文化)と紹介しています。コロンビア大学の「アジアの歴史」の授業で使われている教科書の数冊にもそのような記述がありました。悪き例を挙げますと、第二次大戦前、ヒトラーも「日本は独自の発明、文化が無い二流の国、民族である」と日独伊三国同盟を結びながらも一方では馬鹿にしていました。私が Drew 神学校に学んでいた1980年代の終わり、同じく Drew 大学で博士課程に在籍していたドイツ人留学生と文化や芸術、宗教で議論した時、彼の口から「日本はオリジナリティーが無い、二流の文化国家だろ」と言われ、「ドイツ人は今もってヒトラーの言ったことをそのまま真に受けているのか!？」と不快に思ったことがありました。

が、確かに日本はオリジナルが少ないと言われるとそううかもしれない。その意味では日本は借り物を自分流にする文化です。聖徳太子によって導入された仏教から始まり、漢文からカナ文化へと発達した書き言葉、政治制度、芸術など長い時間を経て、日本独自のものとしてきました。

しかし元来が借り物文化とは言え、最近の余りにも軽薄な風潮には恥ずかしくなるばかりです。日本はごった煮文化で仏教、神道を含め八百万（やおよろず）の神々を祭っています。その中ではキリスト教もその一つに過ぎません。聖日を軽視し、儀式祭礼では仏教や神道の影響が強く残っています。例えば建築の地鎮祭やプロ野球の初詣祈願など、クリスマスには受け入れ難い行事も多々あります。またクリスマスもハローウィンもヴァレンタインも恥ずかしげもなく飾り立てセールにしてしまう。特にクリスマスは礼拝ではなく商業ベースによって人々は完全に踊らされている。インターネットで日本のニュースを読んでいると、あちこちで「けばけばしく」ライトアップしたり、ミニスカートのサンタクロースがキャンペーンをしたり、本当に恥ずかしい。そ

の貧困な精神に驚きを隠せません。(私も歳を取ったのかもしれませんが・・・)

このような社会でクリスチャンとしての信仰を守ること、クリスマスを中心から祝い礼拝を守るのは至難の業です。だからこそ皆さんに聖書をもう一度読むことをお勧めします。

マリアが置かれていた状況は今日の私達が想像できないほど過酷なものでした。旧約の申命記22章13節から29節を読みますと、婚約者がいる女性が他の男性と性的関係を持つことは死罪にあたるということが分かります。町の外に引きずり出されて人々から石打ちの刑にされると記されています。今日の法律、倫理とは全く違った世界観、女性蔑視の社会観がそこにあります。ルカによる福音書では「マリアは聖霊によって妊娠する」と天使が告げていますが、それは本人しか分からないことであり、婚約者のヨセフや他者が見れば、マリアが他の男性の子供を身ごもったと考えても仕方ありません。

事実マタイによる福音書の1章を読みますと、ヨセフはマリアとの縁組を解消しようとしていました。ヨセフの寛容さというか、彼が人格者だった点は、事を公にせず密かに婚約を解消しようとしたこと。それによってマリアが死罪を免れ、子供のお父さんに嫁ぐことも可能になるからです。しかしヨセフは夢で天使のお告げを聞き、またマリアも天使ガブリエルの御言葉を信じ、二人は所帯を持ちイエスを産みました。

また世界で初めてのクリスマスは人々から全く見向きもされない世界の片隅で守られました。世の人々の魂の救いの為、私達の罪を全て引き受ける為に来た救い主は貧しい両親の下、馬小屋で生まれました。親のマリアとヨセフは死の恐怖や不信仰を乗り越えてイエスを産み育てました。

私達はもっとこれらの事実に目を向け、クリスマス礼拝を守らなければならないのではないかと、聖書を読むたびに思います。皆様、どうぞ本来のクリスマスの意味を思い、良い聖誕日をお迎え下さい。

吉松 純

日本語礼拝は毎週午後3時から礼拝堂で守っています。

- 12月 7日：礼拝、聖餐式、Jr. 教会アドヴェント
- 14日：礼拝、Jr. 教会
- 21日：礼拝、礼拝後クリスマス祝会。持ち寄りでお祝いします。
- 24日：クリスマスイブ礼拝、午後9時より
- 28日：礼拝、Jr. 教会

感謝

- * 去る11月26日、グッドシェパード教会で他教会、会派、ユダヤ教寺院と合同感謝祭礼拝をしました。礼拝参加者100名与えられました。心から感謝いたします。
- * 感謝祭当日、日本語礼拝でCUMAC/ECHO(合同メソジスト教団の社会福祉団体)に食べ物を献品しました。持ち寄ってくださいました皆様に心から感謝いたします。

おめでとうございます。

- * ヴァージニアに引っ越されたゴーマン・ロバート兄、由美子姉に10月1日に第4子、待望の女の子が生まれ、エリーゼ・ハナさんと命名されました。エリーゼさんとゴーマンさんご一家の上に豊かな祝福がありますようお祈りいたします。

御協力お願い致します。献金のあて先は UMC-JA とし、寄付のあて先を Note に記してください。

- * サマーキャンプの為
- * ハーベスト・タイム放映の為、献金、お祈りのご協力をお願いいたします。
- * 消印のついた切手の周り1センチの余白を残して切り取って下さい。切手は日本キリスト教海外医療協力会(JOCS)に送ります。JOCS海外に医療関係者を送ると共に医療関係者の育成をしています。
- * ケニアの恵まれない子供達やエイズの患者さん為に特別献金をしています。ご協力下さい。
- * パターソンの St. Philip 伝道と社会福祉団体 CUMAC/ECHO の為に。どちらもメソジスト教団に属し、貧しい人達の為の炊き出しと路傍伝道をしています。

新しい連絡先: The Church of the Good Shepherd, UMC.
326 New Bridge Rd. Bergenfield, NJ 07621

英語オフィス (201) 385-4100

ホームページ: <http://umc-japan.org>

牧師館: (201) 338-2744

吉松牧師 junyoshim@optonline.net

教会学校担当: 吉松 泉姉

izumi.yoshimatsu@gmail.com

Merry Christmas & Happy New Year!

クリスマス礼拝、祝会の御案内

「見よ、おとめが身ごもって男の子を産む。その名はインマヌエルと呼ばれる。」
この名は、「神は我々と共におられる」という意味である。

マタイ 1：23.

2008年はオリンピックや黒人初の大統領オバマ氏の当選など明るい出来事があった一方、世界恐慌以来の不況やテロなど荒廃した社会を反映する出来事も多かった1年でした。が、この喜びに溢れた季節がまた巡ってきました。「時」は神の恵です。クリスマスを祝い、希望を持って新しい年を迎えましょう。皆様をクリスマス礼拝、プログラムに招待いたしたく思います。どうぞお出かけ下さい。

吉松 純

- 12月 6日（日）午後5時より、教会飾り付けとポットラック（持ち寄りディナー）の集い（英語）。
- 12月 7日（土）午前10時30分、英語礼拝にて大人の聖誕劇礼拝。
- 12月21日（日）午後3時、アドヴェント・クリスマス礼拝。礼拝後、牧師館にて持ち寄りで祝会。
- 12月24日（水）午後7時、ファミリー・クリスマス礼拝（英語）。
午後9時、日本語クリスマス・イブ・キャンドル・サービス。
- 12月31日（水）午後7時、大晦日礼拝（英語）。

* 献金袋を同封しました。教会の運営、子供のプログラムの為にあてられます。ご協力いただければ幸いです。宛先は UMC-JA として下さい。

The UMC—Japanese Ministry at the Church of the Good Shepherd

11 Highgate Terrace, Bergenfield, NJ 07621

(201) 385-4100 (英語オフィス) (201) 338-2744 (牧師館、Fax)

www.umc-japan.org